



平成 18 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 7 月 25 日

上場会社名 日本農産工業株式会社

（コード番号：2051 東証・大証 第一部）

（URL <http://www.nosan.co.jp>）

代表者 代表取締役社長 堀尾 守

問合せ先責任者 執行役員業務推進部長 富沢 健

（TEL：(045) 224 3703）

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容)

- ・法人税等の処理・・・法定実効税率をベースとした簡便な方法によっています。
- ・その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いています。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

- ・連結（新規）- 社 （除外）- 社 持分法（新規）1 社 （除外）- 社

2. 平成 18 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 1 四半期	28,173	(6.6)	1,125	(134.3)	1,347	(184.9)	833	(279.3)
17 年 3 月期第 1 四半期	30,154	(14.1)	480	(18.8)	472	(16.9)	219	(17.7)
(参考)17 年 3 月期	119,541		2,145		2,265		1,374	

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 3 月期第 1 四半期	6	79	6	78
17 年 3 月期第 1 四半期	1	79	1	79
(参考)17 年 3 月期	11	03	11	02

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当連結第 1 四半期におけるわが国経済は、昨年後半から続く景気の踊り場局面からの脱却に向けて少しずつ歩を進めていますが、原油価格の高騰、IT 分野での在庫調整や輸出の伸び悩みなど不安材料をなお残している状況にあります。

飼料・畜産業界においては、飼料原料等の上昇により本年 4 月に畜産飼料価格の値上げを実施しました。一方、畜産物相場は総じて回復し、なかでも鶏卵相場は前年同期に比べ高値で推移しました。

このような状況のなか、当社グループにおいては各バリューチェーン強化のため「グループの力」を生かし、かつ、消費者の求める環境への配慮や安全・安心に対する期待に応えた事業展開を積極的に進め、収益の拡大に取り組んでいます。

これらをもとに当連結第 1 四半期の売上高は、281 億円（前年同四半期比 93%）、経常利益は 13 億 47 百万円（前年同四半期比 285%）、四半期純利益は 8 億 33 百万円（前年同四半期比 379%）となりました。

事業別状況は以下のとおりです。

【飼料事業】

畜産飼料の販売数量は、積極的な拡販等により前年同四半期比 103.5%と伸長し、これに伴う製造コストの低減効果と飼料価格安定基金の積増負担の解消などから、前年同四半期に比べ大幅な増益となりました。

一方、水産飼料の売上高は、販売数量で銀鮭用・アワビ用の拡販努力が実を結び大きく伸長したものの、主要なハマチ用・マダイ用等が低水温による食下量の停滞などで低調であったことに加え、競争激化に伴う販売価格の低下により前年同四半期をやや下回りました。

以上の結果、営業利益は 12 億 15 百万円となり、前年同四半期に比べ 4 億 92 百万円増益となりました。

なお、先に公表していた生産・物流・研究開発における業務提携推進の一環として 5 月に仙台飼料(株)を設立しました。

【食品事業】

食品事業では、当四半期の鶏卵相場が 218 円/kg と前年同四半期実績の 164 円/kg を上回って推移したことや、さらなるコスト削減努力などの結果、鶏卵農場子会社の収益は前年同四半期に比べ大幅に改善しました。また、ヨード卵の販売数量は、前期において消費者の安全・安心に対する関心度の高まりによる数量回復がありましたが、当四半期においても引き続き業務用が伸長し、前年同四半期並みに推移しました。

以上の結果、営業利益は 1 億 70 百万円となり、前年同四半期に比べ 1 億 13 百万円増益となりました。

【ライフテック事業】

バイオ新分野は、ADME/Tox (薬物動態及び毒性試験) 分野の研究用試薬マイクロソームが前期に引き続き好調であり、生殖医療分野の細胞用培地も順調に伸長しています。また、タンパク発現分野は、遺伝子免疫の売上実績が加わり、前年同四半期比 3 倍増と順調に伸長しています。

ペットフードは、療法食が好評で順調に売上を伸ばし、また、犬用フードも引き続き前年同四半期を上回ったものの、猫用フードなどが低調であったため減収となりました。

以上の結果、営業利益は 65 百万円となり、前年同四半期に比べ 28 百万円の増益となりました。

以上の結果、5 月 11 日発表の当中間期連結業績予想に対する売上高・経常利益・四半期純利益の進捗率は以下のとおりです。

- ・売上高 281 億円 (当中間期連結業績予想に対する進捗率 49%)
- ・経常利益 13 億 47 百万円 (同進捗率 79%)
- ・四半期純利益 8 億 33 百万円 (同進捗率 93%)

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨て

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	58,568	20,436	34.9	166 36
17年3月期第1四半期	60,021	18,848	31.4	153 95
(参考)17年3月期	56,897	20,186	35.5	164 30

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注) 金額は百万円未満を切り捨て

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	490	536	161	585
17年3月期第1四半期	1,407	970	2,434	490
(参考)17年3月期	3,129	2,172	920	470

[財政状態 (連結) の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は平成 17 年 3 月末と比較して 1,671 百万円増加し、株主資本が 250 百万円増加した結果、株主資本比率は 34.9%となりました。

増減の主なものは、資産では受取手形及び売掛金が 1,015 百万円増加しました。負債では、支払手形及び買掛金が 909 百万円、長短借入金が 617 百万円増加しました。

(連結キャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前第 1 四半期純利益 1,345 百万円、減価償却費 525 百万円及び仕入債務の増加 909 百万円があったことにより、売上債権の増加 1,015 百万円、法人税等の支払 427 百万円、その他の流動資産の増加 654 百万円等がありましたが、490 百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出 662 百万円などにより 536 百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払 425 百万円があったものの、借入金の増加 615 百万円などにより、161 百万円の増加となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当連結第 1 四半期末残高は 585 百万円となり、前期末に比べ 115 百万円の増加となりました。

3 . 平成 18 年 3 月期の連結業績予想（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

業績予想の変更はありません。

[業績予想に関する定性的情報等]

当社グループの経営環境は、畜産飼料価格を 7 月に値上げしましたが、その後、為替相場が円安方向にあり、また、トウモロコシなどの飼料の主原料が先高の動きを見せています。今後、飼料事業をはじめ他の事業とも価格競争が一層厳しさを増すものと思われます。よって、5 月 11 日に発表した中間期および通期の業績予想は据え置きます。

なお、生産・販売各部門の総力を上げて更なるコスト競争力強化に取り組んでまいります。

四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部	当第1四半期	前 期 末	比較増減	前第1四半期	負債・資本の部	当第1四半期	前 期 末	比較増減	前第1四半期
	(17.6.30)	(17.3.31)		(16.6.30)		(17.6.30)	(17.3.31)		(16.6.30)
流 動 資 産	27,889	26,338	1,551	29,216	流 動 負 債	29,789	28,520	1,268	32,492
現金及び預金	585	470	115	490	支払手形及び買掛金	12,598	11,689	909	12,924
受取手形及び売掛金	17,850	16,834	1,015	19,123	短 期 借 入 金	11,830	11,449	381	14,312
た な 卸 資 産	5,765	5,515	249	5,879	そ の 他	5,360	5,382	22	5,255
そ の 他	3,876	3,733	143	3,952					
貸倒引当金	187	214	27	229	固 定 負 債	8,343	8,190	152	8,680
					長 期 借 入 金	6,064	5,828	236	5,954
固 定 資 産	30,679	30,558	120	30,805	退職給付引当金	1,445	1,488	42	1,747
1 有形固定資産	20,953	20,882	71	21,516	そ の 他	832	873	40	978
建物及び構築物	8,419	8,498	78	8,654					
機械装置及び運搬具	5,988	6,029	40	6,585	負 債 合 計	38,132	36,710	1,421	41,172
土 地	5,432	5,434	1	5,483	少 数 株 主 持 分	-	-	-	-
そ の 他	1,112	920	192	793					
2 無形固定資産	371	357	13	348	資 本 金	7,411	7,411	-	7,411
3 投資その他の資産	9,354	9,318	35	8,940	資 本 剰 余 金	2,747	2,742	5	2,731
投資有価証券	6,905	6,640	264	6,283	利 益 剰 余 金	10,325	10,126	198	8,972
そ の 他	2,786	3,046	260	2,938	その他有価証券 評価差額金	1,072	1,045	26	923
貸倒引当金	210	240	30	281	自 己 株 式	1,120	1,139	19	1,190
投資損失引当金	128	128	-	-					
					資 本 合 計	20,436	20,186	250	18,848
資 産 合 計	58,568	56,897	1,671	60,021	負債・少数株主持分 及び資本合計	58,568	56,897	1,671	60,021

四半期連結(要約)損益計算書

(単位：百万円)

摘 要	当第1四半期 自 17. 4. 1 至 17. 6. 30	前第1四半期 自 16. 4. 1 至 16. 6. 30	比 較 増 減	前 期 自 16. 4. 1 至 17. 3. 31
売上高	28,173	30,154	1,981	119,541
売上原価	23,748	26,045	2,297	102,912
(売上総利益)	(4,424)	(4,109)	(315)	(16,629)
販売費及び一般管理費	3,299	3,629	329	14,483
営業利益	1,125	480	645	2,145
営業外収益	323	90	233	585
受取利息及び配当金	47	48	1	97
その他の	276	41	234	487
営業外費用	101	98	3	465
支払利息	55	73	18	280
その他の	46	24	22	184
経常利益	1,347	472	874	2,265
特別利益	7	-	7	431
固定資産売却益	7	-	7	431
特別損失	8	77	68	506
固定資産売却除却損	8	6	2	169
その他の	-	71	71	336
税金等調整前第1四半期(当期)純利益	1,345	395	950	2,190
法人税、住民税及び事業税	503	173	329	800
少数株主利益	8	1	6	16
第1四半期(当期)純利益	833	219	613	1,374

(注)第1四半期における税金費用については、簡便法により計算しているため、「法人税等調整額」は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	当第1四半期	前第1四半期	前 期
	自 17. 4. 1 至 17. 6.30	自 16. 4. 1 至 16. 6.30	自 16. 4. 1 至 17. 3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前第1四半期(当期)純利益	1,345	395	2,190
2. 税引前利益の調整			
減価償却費	525	648	2,523
引当金の増減()額	173	89	259
その他の増減()額	78	23	183
3. 資産及び負債の増減			
売上債権の増()減額	1,015	1,618	684
棚卸資産の増()減額	262	234	126
その他の流動資産の増()減額	654	392	17
仕入債務の増減()額	909	333	901
その他の流動負債の増減()額	321	228	95
4. 法人税等の支払額	427	702	1,130
合 計	490	1,407	3,129
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 固定資産の取得による支出	662	934	2,500
2. 固定資産の売却による収入	15	5	521
3. 投資有価証券等の増()減	141	0	12
4. 貸付金の増()減	55	28	97
5. その他投資等の増()減	194	12	279
合 計	536	970	2,172
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の増減()額	323	3,290	300
2. 長期借入金による収入	839	240	1,690
3. 長期借入金の返済による支出	546	498	1,947
4. 配当金の支払額	425	343	554
5. 自己株式の取得による支出	0	170	171
6. 自己株式の処分による収入	24	-	62
7. その他の増減()額	53	83	299
合 計	161	2,434	920
現金及び現金同等物の増減額	115	56	36
現金及び現金同等物の期首残高	470	433	433
現金及び現金同等物の第1四半期(期末)残高	585	490	470

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円)

摘 要	当 第 1 四 半 期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)						
	飼 料 事 業	食 品 事 業	ライフテック 事 業	そ の 他 業 事	計	消去又は 全 社	連 結
売 上 高	22,172	4,104	2,589	191	29,057	(883)	28,173
営 業 費 用	20,957	3,933	2,523	198	27,612	(564)	27,048
営業利益又は営業損失()	1,215	170	65	7	1,444	(319)	1,125

(単位：百万円)

摘 要	前 第 1 四 半 期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)						
	飼 料 事 業	食 品 事 業	ライフテック 事 業	そ の 他 業 事	計	消去又は 全 社	連 結
売 上 高	24,089	3,807	2,698	278	30,874	(719)	30,154
営 業 費 用	23,367	3,750	2,661	284	30,063	(388)	29,674
営業利益又は営業損失()	722	57	36	5	810	(330)	480

(単位：百万円)

摘 要	前 期 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)						
	飼 料 事 業	食 品 事 業	ライフテック 事 業	そ の 他 業 事	計	消去又は 全 社	連 結
売 上 高	93,797	16,128	11,725	1,425	123,077	(3,535)	119,541
営 業 費 用	91,607	15,540	11,231	1,364	119,744	(2,348)	117,396
営 業 利 益	2,189	588	493	61	3,332	(1,186)	2,145

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質及び市場の類似性を考慮して区分しています。

2. 各事業の主な製品及び事業内容

- (1) 飼 料 事 業・・・鶏用飼料、豚用飼料、牛用飼料及び魚用飼料
- (2) 食 品 事 業・・・ヨード卵、ヨード卵関連商品、鶏卵
- (3) ライフテック事業・・・ペットフード、馬用飼料、実験動物及び実験動物用飼料、バイオ関連商品
- (4) そ の 他 事 業・・・建築請負、不動産管理及び役務等

2. 所在地別セグメント情報

本国以外での売上高及び営業損益はありません。

3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しました。